



いつもは言えない「ありがとう」の気持ちを詩に表しました!

昨年から全学年で、いつもは言えない親に対する「ありがとう」の気持ちを詩に表す授業を行っています。子どもたちが書いてくれた詩は「子どものポエムコンクール」に出品しています。※昨年度は学校賞を受賞し、副賞の図書カードで図書室の本を購入いたしました。

今年も、いろいろなエピソードをもとに心温まる素敵な詩が出来上がりました。

みんなでぐっすり
きょうも夕日がくれて
夜になりねる時間
いつもおかあさんがねてくれる
朝までいっしょにねてくれる
おかげでぐっすり
おかあさん いつもありがとう

二年 黒川 いちは

お母さんのたんじょうび
明日はお母さんのたんじょう日
ぼくは おこづかいをためて
お母さんにプレゼントを買ったよ
コップとキーホルダー
ぼくがえらんた
よろこんでくれるかな
わたすのが楽しみだな

つぎの日
お母さんにわたしたよ
ありがとう
お母さんがよろこんでくれた
よろこんでくれたから
ぼくもうれしかったよ

三年 本多悠真

短い言葉の中に子どもたちの思いが込められています。「いつもお仕事頑張ってくれてありがとう」「ママのごはん大好きだよ」「病気の時、そばにいてくれてあんしんしたよ」など、いろいろなエピソードが詩になりました。日常の当たり前だと思っている出来事にも、家族の方の大きな愛情が詰まっていることに、詩を書くことを通して気づいた子どもも多くいたことと思います。

授業参観、学級懇談会お世話になりました。

5日(金)は、授業参観、学級懇談会に多数のご参加をいただき誠にありがとうございました。新しい学年になって約3ヶ月が経ちますが、お子様の様子や学級の雰囲気はいかがだったでしょうか。普段の様子を見ていると、1年生は、ずいぶん学校生活に慣れてきたなあと感じますし、6年生を見てみると最高学年としていろいろな場面で活動をリードしている姿が多く見られるようになってきました。それぞれの学年でしっかり成長している反面、4月に立てた目標に向かって頑張る気持ちが、少し薄れてきたところもあるかもしれません。1学期も、残すところ1週間になりましたので、一つの節目として学習面や生活面の振り返りをしてほしいと思います。

また、学級懇談会では、夏休みのくらしについても話をいたしました。例年、夏休みに入ると海や河川などでの児童の事故が増えます。規則正しい生活をして体調の管理を行うことと共に、危険な遊びは絶対にしないという約束をご家庭でもしていただくようお願いいたします。

授業参観や学級懇談会でお気づきになったことやご不明な点がありましたら、いつでも学校にご連絡いただくとありがたいです。よろしくお願ひいたします。申し上げます。

